

製鉄所組織の 統合・再編成について

日本製鉄は、製造現場の自律性・効率性を高め「つくる力」の再構築を確実に実現するための組織・業務運営見直しの一環として、製鉄所組織の統合・再編成を実施します。

統合・再編成にあたっては、業務の標準化やICTの進展などにより、遠隔地間をまたぐ業務運営が可能になってきていることを踏まえつつ、製鉄所の地理的關係、製造品種・ライン構成、鉄源分譲などの生産・品質・物流面の間接的資源や技術・技能・ノウハウのさらなる結集の観点などから、2020年4月1日より6製鉄所体制とします。

今般実施する製鉄所組織・業務運営見直しを通じて、「つくる力」の再構築を実現し、製鉄事業競争力の強化を図るとともに、お客様や地域の皆様をはじめとしたステークホルダーの方々から信頼を得られるよう、全力で邁進していきます。

6 製鉄所体制

東日本製鉄所：鹿島製鉄所、君津製鉄所、棒線事業部
釜石製鉄所、チタン事業部 直江津製造所を統合・再編成

関西製鉄所：和歌山製鉄所、鋼管事業部 尼崎製造所、
交通産機品事業部 製鋼所を統合・再編成

瀬戸内製鉄所：広畑製鉄所、日鉄日新製鋼（株）（20年
4月、日本製鉄と合併予定）の呉製鉄所、
堺製造所、東予製造所、大阪製造所を
統合・再編成

九州製鉄所：八幡製鉄所、大分製鉄所、チタン事業部
光チタン部を統合・再編成

室蘭製鉄所：棒線事業部 室蘭製鉄所

名古屋製鉄所

シーバース原料入荷量 累計8億トン達成

大分製鉄所は、8月22日にシーバースでの原料入荷量累計8億トンを達成しました。1971年8月より鉄鉱石・石炭などの入荷を開始し、48年での記録達成となりました。

シーバースは、製鉄所の護岸から400メートル伸びた栈橋の先にある長さ約1キロメートルの荷役用岸壁であり、大分製鉄所が世界で初めて採用した設備です。このシーバースには、40万トンクラスの超大型船の着岸が可能です。今後も、大分製鉄所の高位安定生産を支えるべく、安定操業を継続していきます。



シーバースでの荷役の様子

楽しく学べるゲーム コンテンツ第3弾を公開

10月28日、日本製鉄が行っているプラスチックリサイクル「コークス炉化学原料化法」をモチーフにした、リサイクル活動について楽しみながら学ぶゲームコンテンツ第3弾「つなげて作るうーりサイクルの輪!バズルDEプラスチック」を公開しました。

日本製鉄の優れたリサイクルへの取り組みを広く認知していただくため、君津製鉄所をモデルにした特設サイトを開設しさまざまな学習コンテンツを公開していきます。当ゲームはスマートフォンおよびパソコンでプレイが可能です。日本製鉄は、容器包装プラスチックの回収率向上とリサイクル意識の醸成を図り、リサイクルに積極的に取り組むことで、省エネ・CO₂削減、循環型社会の形成に貢献していきます。



スコア画面

プレイ中の画面

スマホでアクセスすると
すぐにプレイできます



※製鉄原料の1つである石炭を高熱で処理するための設備であるコークス炉を有効活用し、全国の家から自治体経由で分別回収された容器包装プラスチックを、コークスや発電燃料になるガスとプラスチック原料となる油に熱分解するリサイクル法

木造住宅向け接合金物を 共同開発

日本製鉄は住宅用金物メーカーの(株)タツミと共同で、新型金物「TCW」を開発しました。

日本製鉄は、スチールハウス工法(NSスチールフレーム工法[®])における薄板の利用技術を用いて、接合金物として最適な素材と形状を提案。それをベースに(株)タツミが金物工法のノウハウや金物製造技術を融合させ、従来に比べてコンパクトながら耐力が向上した新型金物の開発に成功しました。

新型金物は400MPa鋼のスーパードायマ[®]を使用し、2個のL型金物を柱接合面でも重ね合わせた構成。接合金物における重要部分と過剰部分の最適化が図られています。

日本製鉄は常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、製品の開発・提供を通じて、社会の発展に貢献していきます。



新型金物 TCW

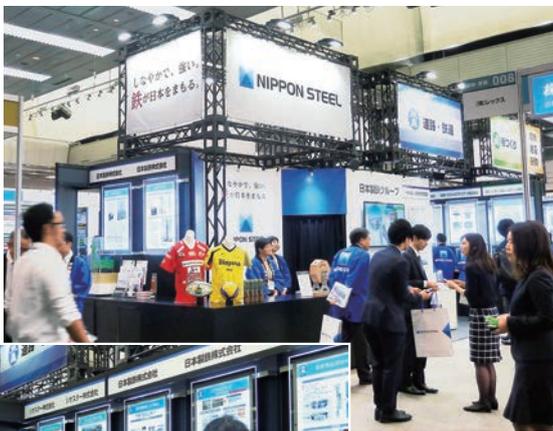
「建設技術展2019近畿」に 出展

日本製鉄グループ[※]は、10月23・24日の2日間、マイドームおおさかで開催された「建設技術展2019近畿」に出展しました。

本技術展は、企業や行政関係機関、学校などが多彩な技術や工法を展示・紹介。建設技術のより一層の高度化や広範囲な技術開発の促進へとつなげるとともに、工事への新技術活用を促すことを目的としています。

日本製鉄グループは「しなやかで、強い。鉄が日本をまもる。」をテーマに、「道路・鉄道」「河川・港湾・砂防」「街づくり」の分野で「国土強靱化」施策に貢献する製品や工法を提案しました。

日本製鉄グループは、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した、質の高い、信頼できるインフラ開発に取り組んでいきます。



展示会の様子



※日本製鉄、日鉄エンジニアリング(株)、日鉄ケミカル&マテリアル(株)、日鉄日新製鋼(株)、日鉄鋼板(株)、日鉄建材(株)、日鉄ステンレス(株)、ジオスター(株)、日鉄テクノロジー(株)、日鉄防食(株)、日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)

第15回全日本学生室内飛行 ロボットコンテストに協賛

9月27・29日、日本航空宇宙学会が主催する「第15回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト」が開催されました。

本コンテストは学生を対象としたオリジナル制作の航空機型ロボットによる競技大会で、日本製鉄は航空機の機体を使用されるチャタン素材を提供するメーカーとして、若手技術者の人材育成を支援する観点から2014年度より協賛しています。今回の「日本製鉄賞」は、崇城大学のマルチコプター部門飛行チーム「HIGOコプター」が受賞しました。

今後も、日本製鉄はものづくり立国日本を支える若手技術者の育成に尽力するとともに、ドローンをはじめ、活用が目目される飛行ロボット分野の技術開発にも、引き続き貢献していきます。



表彰式の様子



日本製鉄賞を受賞した崇城大学の「HIGOコプター」

広報誌バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。

<https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-nipponsteel/index.html>

なお、定期送付ご希望の方は上記アドレスよりお申し込みください。

